

ハイブリッド方式で開催の大阪支部総会報告

2020年の大阪支部総会を、10月3日15時から17時、中央電気倶楽部を拠点にウェブ会議参加と会場参加のハイブリッド方式で開きました。参加者は、来賓の学長特別補佐の河辺伸二教授、本部の加川純一理事長・内藤克己常務理事・大鹿秀正理事・三田晴伸事務局長、兵庫支部支部長高柳誠様の6名を含めウェブ会議参加33名、会場参加14名の47名でした。例年、遠方のため参加しにくい各エリア部会の滋賀部会福永忠昭・京都部会宮本和則・奈良部会西川嘉一・和歌山部会東照久部会長も参加されて盛会となりました。



ウェブ会議の画面

当初は、例年どおり講演会、余興付きの懇親会を含む支部総会を計画し、案内しました。しかし新型コロナウイルス感染の恐れからか、募集期限を過ぎても参加申し込みは少数でした。8月18日の役員会で、急遽ハイブリッド方式の支部総会に変えました。5月から支部幹事会・総務委員会および若手女性部会をウェブ会議で開いていましたので、講演会・懇親会が無くても参加していただけるだろうとの判断でした。

支部総会は川島謙名窯会支部長の司会で進められました。木下隆利学長および加川理事長からは、事前にビデオメッセージを送っていただき、画像・音声を流しました。総会では2020年度の活動実績・決算、2021年度の活動計画・予算および支部長の選任を審議し承認され決定しました。

総会の後、支部長に選任された岡崎格郎支部長の司会で、参加者全員が発言する会員交流会を開きました。平成12年卒の青木健太郎様と一緒にウェブ会議に参加された最長老93歳の昭和22年卒の青木昭二様は、「こんなことができるなんて、驚きばかり」と喜ばれた。



ウェブ会議参加の青木昭二様（M22）

結果的には多くの方のご支援・協力で、支部総会が初めてのハイブリッド方式で無事に開けたことを感謝しています。特に総会担当の名晶会加藤修支部長・田口教平事務局長、名窯会川島支部長には、心労・お手を煩わしたことをお詫びし、厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染を避けるためにハイブリッド方式での開催に変えたために、会場選定、講演者への依頼、余興・懇親会などもキャンセルすることとなり、関係者にずいぶんご迷惑をおかけしました。総務委員長の堀口大輔副支部長にも、通常の報告・議案書作成など準備作業に加えてウェブ会議の資料調達、招待状の送付、接続リハーサルなどでご尽力いただいた。

大阪支部では「いつでも・どこでも・誰でも、参加できる」を合言葉に支部活動をしています。これからも引き続き、ハイブリッド方式の会議などを積極的に活用しながらより多くの方に参加していただくよう努めますのでご支援・協力をお願いします。

記：岡崎格郎(A46)